

予 算 要 求 資 料

令和5年度当初予算

支出科目 款：総務費 項：企画開発費 目：スポーツ振興対策費

事業名 安全登山啓発事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

清流の国推進部 地域スポーツ課 地域・パラスポーツ振興係 電話番号：058-272-1111(内2622)

E-mail：c11172@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 268 千円 (前年度予算額： 268 千円)

<財源内訳>

| 区 分 | 事業費 | 財 源 内 訳 | | | | | | | |
|-----|-----|------------|------------|------------|------------|-----|-----|-----|------------|
| | | 国 庫 支出金 | 分担金 負担金 | 使用料 手数料 | 財 産 収 入 | 寄附金 | その他 | 県 債 | 一 般 財 源 |
| 前年度 | 268 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 268 |
| 要求額 | 268 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 268 |
| 決定額 | 268 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 268 |

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

登山の楽しみ方が多様化し、中高年やファミリーでの登山も増えている一方で準備不足や知識不足による事故も発生している。

このような事故を防ぐために、登山初心者を対象に登山の知識や技能についての基礎講習会を開催し、安全な登山の普及を図る。

(2) 事業内容

- ・白山二県及び北アルプス三県山岳遭難防止対策連絡会議への参加
- ・岐阜県登山講習会(毎年7月上旬)(登山初心者への安全登山に関する基礎講習会)
- ・山岳遭難防止対策強化期間キャンペーンへの参加

(3) 県負担・補助率の考え方

県10/10

スポーツの1つでもある登山は、スポーツを普及する有効な手段である。また、スポーツを習慣化するツールとなり得るものであり、県負担での事業実施は妥当と思われる。

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

| 事業内容 | 金額 | 事業内容の詳細 |
|-------|-----|------------|
| 報償費 | 50 | 講習会講師への報償費 |
| 旅費 | 155 | 講師旅費、職員旅費 |
| 消耗品費 | 3 | コピー用紙 |
| 印刷製本費 | 3 | 看板印刷 |
| 使用料 | 57 | 講習会会場使用料 |
| 合計 | 268 | |

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

岐阜県清流の国スポーツ推進条例第9条
第2期清流の国ぎふスポーツ推進計画

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

安全登山への啓発を通して、誰でも取り組むことができる登山人口の増加を図り、生涯スポーツ社会の推進に繋げる。

（目標の達成度を示す指標と実績）

| 指標名 | 事業開始前 (H27) | R3年度 実績 | R4年度 目標 | R5年度 目標 | 終期目標 (R8) | 達成率 |
|----------|----------------|------------|------------|------------|--------------|-------|
| | | | | | | |
| ①スポーツ実施率 | 41.4% | 46.2% | 65.0% | 65.0% | 65.0% | 71.1% |
| ② | | | | | | |

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

| | |
|-------|---|
| 令和2年度 | <ul style="list-style-type: none"> ・白山二県及び北アルプス三県山岳遭難防止対策連絡会議へ参加し、関係機関との連携強化を図るとともに、情報共有を行った。 ・北アルプス（新穂高登山口）で実施した山岳遭難防止対策強化期間キャンペーンに参加し、登山者約50人に安全登山の啓発と登山届の提出を呼び掛けた。 |
| 令和3年度 | <ul style="list-style-type: none"> ・白山二県及び北アルプス三県山岳遭難防止対策連絡会議へ参加し、関係機関との連携強化を図るとともに、情報共有を行った。 |
| | 指標① 目標：65.0% 実績：46.2% 達成率：71.1% |
| 令和4年度 | 令和6年度当初予算にて追加 |
| | 指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ % |

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

| | |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3:増加している 2:横ばい 1:減少している 0:ほとんどない | |
| (評価) 3 | コロナ禍において登山をはじめとするアウトドアスポーツの需要が高まっており、安全登山の啓発及び生涯スポーツ社会の推進を図るためにも、事業の必要性は高い。 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3:期待以上の成果あり 2:期待どおりの成果あり 1:期待どおりの成果が得られていない 0:ほとんど成果が得られていない | |
| (評価) 2 | 令和4年度の登山講習会に参加した42名にアンケートを実施したところ、概ね満足が48.7%、大変満足が43.6%で、高評を得ている。 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2:上がっている 1:横ばい 0:下がっている | |
| (評価) 2 | 登山講習会について、夏山シーズンの直前(7月上旬)に県内各地から参加できるよう、駐車場が豊富で公共交通機関が充実しているOKBふれあい会館で開催することにより、事業の効率化を図っている。 |

(今後の課題)

| |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・事業が直面する課題や改善が必要な事項 岐阜県登山講習会について、多くの受講者が見込めるような内容、講師の選定を計画する必要がある。 |
|--|

(次年度の方向性)

| |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 次年度以降も事業を継続して開催していくことで、安全登山への啓発及び生涯スポーツ社会の推進を図っていく。 |
|--|

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

| | |
|----------------------------|-------|
| 組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課 | |
| 組み合わせる理由 や期待する効果 など | 【〇〇課】 |